

# ■ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業

25年度予算 100百万円

## ■本事業の目的

- 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
- 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
- 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
- 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市区町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す

※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)

### 都道府県リーダー研修 都道府県の行政担当者、在宅療養支援診療所連絡会等

- 都道府県の役割
  - ・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
  - ・ 都道府県リーダー研修への参加
  - ・ 地域リーダー研修の実施

### 市区町村単位でリーダーを養成

### 地域のリーダー

### 地域のリーダー

### ■都道府県リーダー研修

(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)

- 国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施

### ■地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)

- 各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市町村単位で研修に参加)
  - プログラム策定方法に関する研修
  - 教育展開の手法に関する研修

24年度はここまで

平成25年度



### ■地域リーダーによる地域の多職種に対する研修

- 地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
- 策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施



当資料は厚生労働省 ホームページ内 在宅医療推進について  
「在宅医療・介護あんしん2012」より使用しております。

また、当資料掲載に当たり、厚生労働省在宅医療推進室の許可を得ております。

参考：厚生労働省 在宅医療の推進について「在宅医療・介護あんしん2012」

リンク先

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/iryou/zaitaku/dl/anshin2012.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/zaitaku/dl/anshin2012.pdf)